

平成29年度 事業報告

【はじめに】

本会では、平成26年度から平成30年度までの事業運営の指針となる「南区社会福祉協議会 第3次地域福祉活動計画—みなみひまわりプラン3」に基づき、計画に盛り込まれた実施項目を着実に達成していくため、策定にかかわっていただいた区民の皆様はじめ関係団体および行政機関などの方々にご支援をいただきながら事業を実施するとともに平成29年度は、次期計画となる「第4次南区地域福祉活動計画」（平成31年度からの5か年計画）の策定に着手いたしました。

地域福祉推進協議会活動では、助成金の交付や研修会の開催に加え、学区の方々や活動計画委員の協力を得て作成した「すいしんきょう活動事例集」を配布するとともに、学区担当コミュニティワーカーを中心にふれあい給食サービス事業、ふれあいネットワーク活動、サロン活動をはじめとした多彩な学区地域福祉推進協議会の活動を支援いたしました。

さらに、名古屋市より「地域力の再生による生活支援推進事業（地域支えあい事業）」を引き続き受託し、既存の明治学区、道徳学区、伝馬学区、白水学区、桜学区に、新たに大磯学区を加えた6学区で実施、公的制度では対応できない地域が抱える課題に、住民の方々の力で解決していくための支援を行いました。

ボランティア活動の促進では、既存の活動では補えないニーズに対応するため、生活の中のちょっとした修繕や日曜大工に対応する、「小修繕ボランティア養成講座」を開催し、参加者によるボランティアグループを組織化するとともに活動支援を行いました。

ネットワークづくりでは、区内の子育てサロン・サークル、地域子育て支援センター、ボランティアグループ、NPO法人、区役所などで構成する子育て支援活動のネットワーク組織「みなみ子育てネット」の支援を行うとともに、区役所福祉課に協力し、関係者とともに「みなみシニア大集合！」を開催しました。

その他、名古屋市から「高齢者はつらつ長寿推進事業」を受託するとともに、介護保険事業では、南区デイサービスセンターひまわりを運営いたしました。

また南区南部いきいき支援センター（地域包括支援センター）事業及び南区介護保険事業所の運営に協力いたしました。

【法人運営】

1 理事会の開催

事 項	開 催 日	場 所	内 容
第1回 (第73回) 理事会	平成29年 6月5日(月)	在宅サービス センター 研修室	平成28年度事業報告ならびに収支決算、評議員選任・解任委員の選任、評議員候補者の選任、役員候補者の選任、定款の一部改正、定款施行細則の一部改正、会長専決規程の一部改正、経理規程の一部改正、平成29年度資金収支補正予算、定時評議員会の招集 (報告)名古屋市南児童館の変更協定書の締結、社会福祉充実残額の算定結果
第2回 (第74回) 理事会	平成29年 6月21日(水)	在宅サービス センター 研修室	会長の選任、副会長の選任、総括理事の指名、顧問の委嘱、常務理事以下代決規則の一部改正、臨時職員就業規則の一部改正、児童館パート職員就業規則の一部改正、旅費規程の一部改正
第3回 (第75回) 理事会	平成29年 12月12日 (火)	在宅サービス センター 研修室	第4次南区地域福祉活動計画の策定、平成29年度資金収支補正予算、役員等の費用弁償に関する規程の一部改正、個人情報保護規程の一部改正、特定個人情報等取扱規程の一部改正、臨時職員就業規則の一部改正、児童館パート職員就業規則の一部改正 (報告) 会長の職務執行状況、会員の入会、第3次南区社協地域福祉活動計画の進捗状況、高齢者見守り活動参加促進映像
第4回 (第76回) 理事会	平成30年 3月20日 (火)	在宅サービス センター 研修室	平成29年度資金収支補正予算、平成30年度事業計画ならびに収支予算、専門職員就業規則の一部改正、臨時職員就業規則の一部改正、児童館パート職員就業規則の一部改正、名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結

2 評議員会の開催

事 項	開 催 日	場 所	内 容
定時 (第63回) 評議員会	平成29年 6月21日(水)	区役所 講堂	平成28年度事業報告ならびに収支決算、役員 の選任、定款の一部改正、会長専決規程の一部 改正、平成29年度資金収支補正予算 (報告)社会福祉充実残額の算定結果
第2回 第64回 評議員会	平成29年 12月20日 (水)	区役所 講堂	第4次南区地域福祉活動計画の策定、平成29 年度資金収支補正予算、役員等の費用弁償に関 する規程の一部改正 (報告)会長の職務執行状況、第3次南区社協 地域福祉活動計画の進捗状況
第3回 第65回 評議員会	平成30年 3月29日(木)	区役所 大会議室	平成29年度資金収支補正予算、平成30年 度事業計画ならびに収支予算 (報告)第4次南区地域福祉活動計画策定委員 会開催状況

【事業実施報告】

1 「第3次地域福祉活動計画」の実施

(1) 一人ひとりが支え合う仕組みづくり

- ・あいさつを交わすことで、一人ひとりが地域とつながり、支えあえる関係づくりをめざした「声かけ隊養成講座」をホームヘルパー等を対象に11回開催し、合計136名の方に受講していただきました。
- ・「声かけ隊養成講座」の拡充のため「フォローアップ講座」を開催し、合計9名の方に受講していただきました。
- ・「困りごとを発見する仕組み」の検討では、サロン研修会においてサロン運営者の方と意見交換を行うとともに、サロン7か所及びシニア大集合において、南部いきいき支援センターの協力を得て高齢者出張相談会を開催しました。
- ・「困りごとを解決する仕組み」では、傾聴ボランティアグループへのインタビューを実施し、既存の仕組みも参考にしながら今後の活動につなげていきます。



(2) 福祉の心をはぐくむ人づくりまちづくり

- ・「ここバリすぽっと」の機能拡大をめざし、協力していただける47か所のすぽっとに、パンフレットスタンドを置き、いきいき支援センターと協力して、福祉情報の発信拠点となつていただきました。設置数：132か所
- ・地域福祉活動計画のサポーターがサロン研修会で「ここバリスポット」の啓発を行いました。
- ・地域福祉活動計画のサポーターが、学区の協力を得て、菊住学区に平成28年4月に開設した共生型サロンが2周年を迎え、年2回のイベントを開催しました。



(3) 学区を基盤としたネットワークづくり

- ・地域福祉推進協議会の状況把握のため、特色ある取り組みや活動の課題について18学区推進協へ取材を行いました。
- ・上記の取材の結果を基に、各学区の推進協の活動を掲載した事例集「みなみくすいしんきょう活動事例集」を作成し、全学区に配付しました。
- ・効果的な推進協研修会の内容を検討しました。
- ・学区と施設のつながりを作るため、前年度に引き続き桜学区と春日野学区の文化祭への、福祉施設の作品の出展の調整を行うとともに、新たに、豊田学区と星崎学区のコミセンまつりにも学区内の福祉施設が出展できるよう調整を行いました。
- ・地域団体と企業の連携推進を目的として、大同特殊鋼株式会社星崎工場主催「くすのき作品展」(地域の作品展)への障がい児・者の作品の出展を調整しました。



◇開催日：平成29年11月3日（金・祝）

◇出展作品：10作品

・地域団体と企業の連携推進を目的として、大同特殊鋼株式会社星崎工場主催「秋の祭典」（地域の運動会）の親子玉入れ競技への障がい児・者や保護者の参加を下記のとおり調整しましたが、当日は台風のため中止となりました。

◇開催日予定日：平成29年9月17日（日）

◇参加予定者：障がい児・者や保護者25名

・移動販売業者「とくし丸」と連携し、学区内にスーパーのない桜学区へ、毎週の拠点販売の調整を行いました。



（4）第3次地域福祉活動計画の進行管理

第3次地域福祉活動計画の進行を行うため、計画策定に関わったワーキンググループ委員を中心にした活動計画推進検討会議を3回開催しました。

	開催日・場所
第1回	平成29年 7月 3日（月）・在宅サービスセンター研修室
第2回	平成29年11月27日（月）・在宅サービスセンター研修室
第3回	平成30年 2月26日（月）・在宅サービスセンター研修室

（5）各種サロン・サークル・団体のネットワークづくりの推進

子育ての分野では、子育て支援活動を行っている団体のネットワーク組織「みなみ子育てネット」の事務局を担い、毎月発行している子育て情報誌「みなみっ子だより」のほか、各子育て機関やサロン等の情報を掲載した冊子「みなみ子育てガイドぶっく」の発行を行いました。

また、子育て支援者向けに「子育て支援者交流会」、保護者向けに「issa ママの料理教室」を開催し、それぞれ子育て支援関係者、保護者の情報共有や交流を図りました。

そのほか、「南区子育て支援ネットワーク連絡会」と共に「南区子育てまつり」を開催し、保護者等の地域活動の参加促進を図るとともに、学区を超えた区域間での交流を図りました。

《子育て支援者交流会》

◇開催日：平成30年2月8日（木） ◇参加者：39名

◇場 所：南区役所 講堂

◇内 容：テーマ「本当に必要とされる支援とは何か」と現状報告

《issa ママの料理教室》

◇開催日：1回目 平成29年5月11日（木）

2回目 平成29年11月9日（木）

◇参加者：両日とも20名

◇場 所：南区在宅サービスセンター 調理実習室・研修室

◇内 容：簡単で美味しい料理をスタッフの指導のもと調理し、その間、別のスタッフが託児を担当。



《南区子育てまつり》

◇開催日：平成29年6月10日（土） ◇参加者：810名

◇場 所：日本ガイシスポーツプラザ 第2競技場

◇内 容：ステージコーナー、赤ちゃんコーナー、手形アートコーナー、大型遊具

(6) ここバリ作品展の開催

各種福祉団体の協力のもと、区内の介護サービス利用者やはつらつクラブ参加者などの高齢者と障がい児・者が日頃取り組んでいる作品の展示会を開催しました。期間中は赤い羽根共同募金活動として、高齢者や障がいのある方の手作り品によるバザーも同時開催し、募金額は128,450円になりました。

◇日 時：平成30年1月19日（金）・20日（土）

◇会 場：南区役所 講堂

◇入場者：延べ677人



2 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進協議会（推進協）活動の支援

全学区において組織されている地域福祉推進協議会（推進協）の活動を支援するため、構成員を対象とした研修会や事務説明会を開催しました。

・地域福祉推進協議会研修会

◇開催日：平成30年2月6日（火） ◇参加者：55名

◇場 所：南区役所講堂

◇内 容：住民主体の支えあい活動について等

・地域福祉推進協議会事務説明会

◇開催日：平成30年3月7日（水） ◇参加者：39名

◇場 所：南区役所 講堂

◇内 容：助成金事務説明、事務連絡等

(2) 「ふれあい給食サービス事業」支援

◇実施学区数：18学区

◇実施回数：会食107回 配食41回

◇参加人数：8,662名

(3) 「ふれあいネットワーク活動」支援

学区地域福祉推進協議会が実施するふれあいネットワーク活動の支援を行いました。

◇実施学区数：9学区

◇見守り世帯数：2,706世帯

◇協力者数：1,200名

(4) 各種サロン・サークルへの支援

身近な場所で気軽に集い、情報交換や仲間づくりを行っているサロン・サークル活動の支援を行いました。(平成29年度新規サロンの立ち上げ支援を行った18か所のうち開設は16か所)

《サロン・サークルへの運営支援(平成30年3月末現在)》

◇高齢者サロン・サークル：43か所

◇共生型サロン：55か所

◇子育てサロン・サークル：39か所

◇計137か所

(5) 「ひまわりハウス」の運営

本会が菊住学区内に所有する「ひまわりハウス」をボランティアが利用できるように開放するとともに、各種サロンやおもちゃの銀行などの活動拠点として、利用の促進を図りました。



《ひまわりハウスの利用状況》

利用内訳	利用回数	延利用人員
創花工芸	23	177名
白ゆり会	17	165名
はなしば	11	118名
おもちゃの銀行	11	54名
和紙ちぎり絵	11	50名
菊住一丁目町内会	3	29名
あじさいサロン	12	202名
おしゃべり会	22	133名
菊住民生・児童委員協議会	3	30名
計	113	958名

(6) 賛助会員の募集

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するため、区民の方々に賛助会員の募集を行いました。また、賛助会員に、本会広報紙「ふれあいみなみ」を送付しました。

区 分	会員数	賛助会費
個 人	4, 4 5 3 件	5, 3 4 5, 3 0 0 円
法人・団体	3 5 4 件	

※昨年度実績

個人：4, 8 2 8 件、法人・団体：3 7 3 件、合計5, 5 3 9, 2 0 0 円

(7) 福祉教育の実践

小・中学校をはじめとして地域で行われる高齢者疑似体験や車いす体験、ガイドヘルプ体験等の福祉教育を実施しました。(総実績20回、延べ1, 1 4 6 名)

※福祉教育プログラムの一例 (星崎小学校)

開催日	学年	人数 (計)	内容
1月23日	4	60	ガイドヘルプ・視覚障がいの方との交流
2月9日	6	60	認知症サポーター養成講座
2月22日	5	52	身体障がいの方の講話
2月23日	5	52	車いす体験
2月27日 3月6日	3・6	122	手話体験、聴覚障がいの方の講話

(8) 学区等地域福祉活動の個別的支援

本会に配置されている主事をコミュニティワーカーとして位置づけ、区内18学区を分担して受け持つ「学区担当制」を導入し、ふれあい給食会などの地域福祉推進協議会が実施する事業に積極的に参加し、地域福祉活動を支援しました。

3 地域力の再生による生活支援推進事業（地域支えあい事業）の実施

「地域力の再生による生活支援推進事業」として名古屋市より事業を受託し、住民一人ひとりの生活の困りごとの解決に向けた、見守りや支えあい活動を明治学区、道德学区、伝馬学区、白水学区、桜学区、大磯学区の6学区で実施、その支援を行いました。

(1) 地域支えあい活動連絡会議（準備会含む）

地域における新たな課題解決のため地域福祉推進協議会を中心に、学区内で活動するボランティアなどを含めた学区内における協議・協働を目的として開催しました。

◇開催回数	明治学区	3回	道德学区	3回
	伝馬学区	14回	白水学区	3回
	桜学区	2回	大磯学区	2回

(2) ご近所ボランティア養成講座（協働ネットワーク研修）

地域支えあい活動連絡会議の構成メンバーに限らず、現在活動しているボランティアや新たな担い手づくりのため、活動者同士の情報共有や専門機関による研修会等を実施しました。



名古屋市社会福祉協議会主催 「地域支えあい活動フォーラム」	
開催日	平成30年1月25日(木)
場所	名古屋国際会議場 白鳥ホール
内容	○地域福祉活動の重要性と今後の方向性 ○実践事例発表

南区社会福祉協議会主催 「ボランティア養成講座」		
開催日	平成29年9月21日(木)	平成29年9月30日(土)
内容	小修繕ボランティアについて(講義)	小修繕ボランティア(実践)
場所	在宅サービスセンター 5階	ひまわりハウス

		開催日	場所	参加者数	内容
学区主催	明治	平成29年 5月15日	明治コミュニティ センター	約 80名	ふれあいネットワーク研修、見守り活動連携強化、地域支えあい事業について
	道徳	平成30年 3月3日	交流センター道徳	約 40名	防災時の支えあいの体制について、地域支えあい事業について
	伝馬	平成29年 11月28日	伝馬コミュニティ センター	約 50名	いきいき支援センターの関わり、サロンスタッフ交流、地域支えあい事業について等
	白水	平成30年 3月4日	白水コミュニティ センター	約 40名	いきいき支援センターの関わり、地域支えあい事業について
	桜	平成29年 8月26日	桜コミュニティ センター	約 40名	ふれあいネットワーク研修会、認知症高齢者について等
	大磯	平成30年 1月14日	大磯コミュニティ センター	約 40名	いきいき支援センターについて、地域支えあい事業について

(3) 支えあい活動(個別支援事業)

個人のちょっとした困りごとなどを把握し、地域の支えあいにより解決する取り組みを行いました。(資源ごみの分別・搬出、電球の取り換え、通院付添など)

◇活動件数 明治：904件 道徳：2, 298件 伝馬：388件
白水：167件 桜：28件 大磯：67件

(4) ボランティアポイント制度

ボランティア活動を希望する方にボランティア登録をしていただき、参加したボランティア活動に応じてポイントを付与し、地域福祉推進協議会に還元をするボランティアポイント制度を実施しました。

	明治学区	道徳学区	伝馬学区	白水学区	桜学区	大磯学区
認定事業数	7事業	7事業	5事業	5事業	5事業	7事業
活動延人数	7,805名	6,420名	3,521名	669名	898名	371名
ポイント付与数	42,210ポイント	40,782ポイント	17,281ポイント	2,868ポイント	2,517ポイント	1,764ポイント
ポイント還元額	406,320円	391,410円	165,380円	26,310円	22,110円	17,640円

4 ボランティア活動の振興

ボランティアセンターとして、ボランティア活動に関する情報提供、登録、コーディネートや保険加入手続き等を実施しました。

《ボランティア登録数》

登録ボランティア数	個人	91名
	グループ	163団体(3,364名)
ボランティア相談件数	114件	

《ボランティア相談 day》

南区ボランティア連絡協議会が、区民を対象にボランティア相談を実施しました。

◇ 月曜日～木曜日 午前10時～12時

(1) ボランティア団体活動支援

南区ボランティア連絡協議会の加盟団体をはじめ、ボランティア団体の活動を支援しました。

◇南区ボランティア連絡協議会加盟団体への事業助成：22団体

◇ふれあい広場事業(ボランティアルーム等活用事業)の開催(10回・延べ275名参加)

(2) 夏季ボランティア講座の実施

区内在住・在学の中学・高校が、高齢者施設、障がい児・者施設、児童福祉施設等や地域ボランティアグループで、夏休み期間中にボランティア活動体験を行いました。

◇受入施設等：22施設、地域ボランティアグループ 4団体

◇参加者：80名(中学生67名、高校生13)

(3) ボランティア養成事業

《小修繕ボランティア養成講座》

既存の社会資源等の把握と同時に、民生委員やケアマネジャー等の支援者、給食会やサロンの参加者等に「生活支援に関するアンケート」を実施。調査、分析した結果、既存の社会資源では補えない「小修繕・日曜大工」のニーズに対応するための新たな担い手を創出するため、「小修繕ボランティア養成講座」を開催しました。

◇開催日：平成29年9月21日（木）・9月30日（土）

◇場所：在宅サービスセンター 研修室、ひまわりハウス

◇内容：1日目 「小修繕ボランティアについて」

小修繕ボランティアの活動紹介、技能確認シートの記入等

2日目 「小修繕ボランティアの実施練習」

ひまわりハウス内の網戸の張り替え、座談会等

◇参加者：21人



(4) ボランティア情報の発信

南区の福祉施設のボランティア募集情報をまとめた「南区ボランティア求人情報」と南区登録ボランティアグループの情報をまとめた「南区ボランティアグループ情報誌」を発行し、施設と個人の調整を行いました。また新しくボランティアをはじめたいという方を施設やグループにつなげました。

(5) 南区ボランティア連絡協議会への協力

- ・南区ボランティア連絡協議会研修事業助成
- ・地域ボランティア促進事業助成

5 障がい者及び障がい者団体への支援

(1) 障がい者と区民のつどい「さわやかウォーク」の開催

“みんなが住みたくなるまち～出会いとふれあいの豊かな安らぎのまち～南区”を目指して、障がい者も高齢者も子どももすべての区民の方々が集い、歩き、ふれあう交流の場を設けることにより、福祉の輪を広げるために開催を予定し、実行委員会で協議を重ね準備しておりましたが、当日は悪天候のため中止となりました。

(2) 障がい者団体活動支援

区内の障がい者団体で組織する「南区障害者関係団体連絡会」（南障会）、南区身体障害者福祉協会、南区手をつなぐ育成会などの活動を支援しました。

- ・南区障害者関係団体連絡会研修会開催助成

- ・南区障害者関係団体連絡会ネットワーク事業助成
- ・南区身体障害者福祉協会運営推進事業助成
- ・名古屋市身体障害者スポーツ大会参加推進事業助成
- ・南区手をつなぐ育成会クリスマス会事業助成
- ・南区手をつなぐ育成会家族交流会開催助成
- ・特別支援学級児童生徒作品展開催助成

(3) 福祉用具の貸出

車いす、高齢者疑似体験セット等の福祉用具の貸出を行いました。

(4) 南区自立支援連絡協議会への参加

運営会議やワーキンググループへの参加、及び、事業運営に協力することにより障がい者が住みやすい地域づくりを推進しました。

- ・要援護者の防災を考える会

障がい関係の各事業所や、地域住民、関係機関職員が、防災への取組みを検討するため研修会を実施しました。

◇開催日：平成29年12月13日（水）

◇参加者：約40名

◇場 所：南区役所 講堂

◇内 容：クロスロード（防災研修用カードゲーム）を使用したグループワーク

- ・地域福祉力を伸ばそうワーキング

南保健所、南区障害者基幹相談支援センター、南区精神保健福祉ボランティアあいの会、みなみ家族会と協力し、精神保健福祉の啓発のため、「こころの健康出前講座」や障がいに関する講演会を開催しました。

◇テーマ：大切な人の変化に気づく～あなたも誰かのゲートキーパー～

◇開催日：平成30年1月24日（水）

◇参加者：39名

◇場 所：南区役所 講堂

◇講 師：社会福祉法人 愛知いのちの電話協会 事務局長 兼田 智彦 氏

- ・支え合いのまちづくり事業

障がい者参加のまちづくりについての啓発を行いました。

◇テーマ：～地域で育ちあう～

◇開催日：平成30年2月18日（土）

◇参加者：約230名

◇場 所：南区役所 講堂

◇内 容：1 映画“みんなの学校”の上映

2 南区活動報告

3 ロビーにてひまわり横丁、おもちゃ図書館の開催



6 高齢者はつつ長寿推進事業の実施

閉じこもりがちで健康に不安を持つ高齢者に対し、健康増進やレクリエーション活動等の介護予防的なプログラムを提供することにより、心身機能の低下を防止し、仲間づくりや社会参加を促進することを目的として実施しました。(区内8か所で実施)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
午前10時 ～12時	大磯学区(善常会 リハビリテーション病院)	星崎学区(星崎 コミセン)	伝馬学区(伝馬 コミセン)	宝南学区(宝南 コミセン)
参加者数	24名	24名	24名	24名
ボランティア数	5名	5名	3名	3名
午後1時30分 ～3時30分	呼続学区(呼続 コミセン)	白水区(白水 コミセン)	菊住学区(菊住 コミセン)	道徳学区(交流 センター道徳)
参加者数	24名	24名	24名	22名
ボランティア数	4名	3名	3名	3名

※参加数、ボランティア数は、平成30年3月実績。



・はつつ長寿推進事業の地域開放事業の実施

はつつ長寿推進事業を利用者以外の区民の方々に広く周知するため、地域開放事業として健康体操などを実施しました。

【公開講座】

善常会会場・星崎会場・伝馬会場・白水会場において実施しました。

(体操・薬の話・防災の話・体験会)

【異世代交流】

呼続、大生、白水会場において実施しました。

【男性限定イベント】

5月26日	料理教室	13名参加
12月1日	料理教室	13名参加
2月2日	タブレット講座	10名参加
2月23日	体力測定・ころばん講座	13名参加



7 子育て支援事業の実施・協力

“子育てするなら南区で”を合言葉に、よりよい南区の子育て環境のために、子育て支援に関する関係機関・団体とのネットワーク組織である「みなみ子育てネット」の支援を行いました。

(1) 「みなみ子育てネット」情報窓口の拡大

子育て情報を掲載した年間誌「みなみ子育てガイドぶっく」及び子育て情報を掲載した月刊紙「みなみっ子だより」を発行し、区内子育て関連施設、スーパー、調剤薬局、病院などに設置協力を依頼しました。またブログの更新も随時行い、子育て情報をより多くの子育て家庭へタイムリーに発信できるよう情報窓口拡大を行いました。

(2) 子育て支援者交流会の開催

子育てサロン・サークルやボランティア、NPO、主任児童委員など子育てに関する関係機関が一堂に集まり、情報交換や交流、スキルアップを目的として開催しました。

※開催実績は、P5 参照

(3) 子育て支援機関への協力

区役所をはじめ保健所や地域子育て支援センターなど区内の子育て支援に関する機関が実施する事業に対し、積極的な協力を行いました。

- ・南区年長保育まつり
- ・南区子ども会連絡協議会成人指導者研修会開催助成
- ・南区子ども会連絡協議会合作画コンクール開催助成
- ・南区子ども会連絡協議会ジュニアリーダー講習会開催助成
- ・南区子ども会連絡協議会年少リーダー講習会開催助成
- ・南区子ども会連絡協議会研修事業助成
- ・南区子ども会連絡協議会旗購入助成
- ・南区子ども会連絡協議会友情のともしび交歓会開催助成
- ・南区保育士会実技講習会開催助成
- ・南区学童保育連絡協議会親と子の共育セミナー事業助成
- ・学童共同保育所読書支援事業助成
- ・南区子育て広場開催助成
- ・南区教育振興会運営推進事業助成
- ・愛知県私立幼稚園 PTA 連合協議会南支部 子育て講演会開催助成
- ・南区少年補導委員会事業助成

8 災害ボランティアネットワークとの連携・支援

名古屋みなみ災害ボランティアネットワークと連携し、区民まつりなどに防災ブースを出展するなど災害に関する意識啓発事業を実施するとともに、夏季ボランティア講座では区内の中高生を対象に防災に関する講座を開催しました。

9 南部いきいき支援センター（地域包括支援センター）事業への協力

高齢者のみなさまがいつまでも住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、名古屋市から名古屋市社会福祉協議会が受託している「南区南部いきいき支援センター」の運営に協力しました。

- (1) 総合相談・権利擁護：延べ2, 371件
- (2) 介護予防ケアマネジメント
 - ・介護予防認定調査非該当者の把握：44件
- (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援：延べ2, 817件
 - ・居宅介護支援専門員向け研修会の実施
主に区内居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対し6回実施。新人ケアマネジャーに対し2回実施しました。
- (4) 認知症高齢者を介護する家族支援事業
 - ①認知症高齢者を抱える家族教室（10回 参加延べ人数：77名）
 - ②認知症高齢者を抱える家族サロン（12回 参加延べ人数：81名）
 - ③もの忘れ相談医による専門相談（12回 相談件数：17件）
 - ④認知症サポーター養成講座（18回 養成したサポーター数：493名）
- (5) 高齢者見守り支援事業
相談件数：新規35件（内認知症高齢者11人）
見守りネットワーク構築件数：27件
いきいきコール利用者数：31名（平成30年3月末現在）
- (6) 認知症地域支援体制づくり事業
 - ・認知症初期集中支援チーム
新規支援対象者数 29名
(男性13名 女性16名 ※一人暮らし高齢者12名)
終了件数 31件（在宅25件 入所6件）内平成28年度からの継続14件
 - ・認知症地域支援推進員
 - ・認知症カフェ 区内18か所（南部圏域：6件）
- (7) 地域包括ケア推進会議の開催及び各部会事業の実施

地域包括ケア推進会議 開催日		出席者
第1回	平成29年7月6日（金）	20名
第2回	平成30年3月2日（金）	16名

<高齢者孤立防止対策部会（つながろうねっと）実施事業>

◇会議開催日 第1回 平成29年6月28日（水）

第2回 平成29年10月25日（水）

第3回 平成30年1月31日（水）

①男性介護者サロンだんだんの開催（5回 参加延べ人数：30名）

②出張相談会

③「みなみシニア大集合」の実施：平成29年11月25日（土）

- ④探そう！南区いきいきMAP*増刷 2,000部
- ⑤高齢者見守りPV（高齢者見守り活動参加促進映像）*の制作
※大同大学情報学部情報デザイン学科上岡研究室と協働



<認知症専門部会実施事業>

- ◇会議開催日 第1回 平成29年5月11日（木）
- 第2回 平成29年8月24日（木）
- 第3回 平成29年11月9日（木）
- 第4回 平成30年2月19日（月）

- ① 脳の健康チェック（ファイブ・コグ）・認知症予防講座
（5回 参加延べ人数：125名【男性24名 女性91名】）
- ② 認知症カフェネットの開催（2回）
- ③ 「認知症高齢者の自動車運転 介護相談窓口担当者向け講座」の開催
平成30年3月14日（水）善常会リハビリテーション病院 参加者名
- ④ 「はいかい高齢者おかえり支援事業」模擬訓練の実施
平成30年2月26日（月）笠寺病院 参加者37名

(8) 指定介護予防支援事業所

事業対象者・要支援1・2の方に対するプランの作成状況(平成30年3月実績件数)

		直営分	委託分	計
事業対象者	第1号介護予防	47件	51件	98件
要支援1	第1号介護予防	20件	117件	137件
	介護予防	25件	139件	164件
要支援2	第1号介護予防	25件	117件	142件
	介護予防	62件	339件	401件
計		179件	763件	942件

10 介護保険事業の実施

(1) 「南区デイサービスセンターひまわり」の運営

- ◇営業日数：308日 ◇年平均実利用者：76名
- ◇年間延利用者：6,949名（要介護1～5 5,240名 要支援1・2 1,709名）
- ◇調理ボランティア：51名 ◇介助ボランティア：3名

(2) 「南区介護保険事業所」への協力

① なごやかヘルプ事業（訪問介護事業等）

- ◇利用者：339名 ◇なごやかスタッフ(登録ヘルパー数)：134名
- ◇年間延利用者：4,318名 ◇年間延利用時間：44,414時間

② 居宅介護支援事業

- ◇利用者：308名 ◇年間延利用者：3,596名

1 1 名古屋市笠寺福祉会館・南児童館の管理・運営

(1) 笠寺福祉会館

①福祉増進事業の実施

趣味の講座や健康教室等を開催するとともに、レクリエーション活動や同好会活動を支援しました。また、健康や生活に関する相談事業を行いました。

さらに、囲碁将棋室、卓球室、集会室、浴室等を無料で提供しました。

②一般介護予防事業の実施

認知症予防に関する運動や知識を学ぶ教室や認知症予防の普及と啓発及び地域で活躍するリーダーを養成するため、介護予防日常生活支援総合事業を実施しました。福祉会館では「一般介護予防事業」として「認知症予防教室」（6か月コース・年2回）と「認知症予防リーダー講座」（2か月コース・年4回）を開催しました。

③回想法事業の実施

回想法による地域福祉活動の拠点として名古屋市南部回想法センターを運営しました。回想法の普及を図るため、「回想法スクール」を開催したほか、介護施設などへの出張回想法にも取り組みました。また、これらの担い手として回想法ボランティアの育成に努めました。

④高齢者サロンの実施

会館利用者のうち孤立しがちな高齢者や、日常生活に不安を感じる80歳以上の高齢者を対象とした仲間づくりの場として、サロンを開催しました。

⑤名古屋市笠寺福祉会館サービス向上委員会の開催

利用者への一層のサービス向上を図るため、会館利用者や福祉関係団体の代表者などで構成するサービス向上委員会を2回開催し、会館の事業や運営などについて検討・協議などを行いました。

《会館利用者の概要等》

利用者総数	内 訳			
	個人利用者数	団体利用者数	予防教室等利用者数	
52,627名	32,168名	18,825名	1,634名	
利用証発行数	内 訳		講座数	同好会数
	新規	継続		
1,213名	247名	966名	15講座	36

(2) 南児童館

子どもたちを健やかで情操を豊かに育むこと、安全・安心な子どもたちの居場所となることを目的に運営しました。

①子ども育成活動の実施

日常の遊びの支援、体育室でのスポーツの提供のほか、クッキングやクラフト等、多様な行事を実施しました。また新たに、子ども自身が企画し、実施するクラブ（みなみチャレンジクラブ）を行いました。年間：70行事

クラブ活動として、極めろ卓球、バスケットボール、茶道他4クラブを実施しました。

②子育て支援活動の実施

ちびっこルームを乳幼児専用の部屋として開放しました。サロン、ベビーマッサージ、離乳食のたべくらべ、防災教室等の行事を実施しました。年間：43行事
クラブ活動として、親子体操、ちびっこ体操他6クラブを実施しました。

③移動児童館の実施

区内6公園、笠寺福祉会館、生涯学習センターで実施しました。また、大生ふれあいセンターの異世代交流会、学区子育てサロン（3か所）に参加しました。

年間：13回

④学習支援事業の実施

中学生の学習支援事業は6月より1クラス（12名）が追加になり、計2クラスを運営しました。また新たに、高校生の学習継続支援事業も受託し運営しました。※毎週水曜日、午後6時～8時（夏休み期間は月曜日も実施）

生徒数：中学生25名、高校生5名 学習サポーター登録：16名

実施回数：87回 のべ出席者数740名

⑤中高生の居場所づくり事業の実施

毎週金曜日、中学生、高校生（相当年齢）が午後5時から8時（中学生は7時）まで利用できる「ユースみなみ」を実施しました。学習室では自習スペースに加え、ボランティアによる学習指導も行いました。また、名古屋市青少年交流プラザと共催で、中高生秋まつりを開催しました。

実施回数：48回 のべ利用者数822名（中学生599名・高校生221名）

学習室：48回 延べ利用者数163名（中学生159名・高校生4名）

⑥名古屋市南児童館サービス向上委員会の設置

利用者へのサービスの質の向上を図るため、サービス向上委員会を開催し、事業や運営などについて検討・協議などを行いました。年間：2回

《児童館事業実績》

館内遊び 場利用	団体利用		健全育成事業								クラブ活動		合計
			中学生の学習支援事業		高校生の学習継続支援事業		館内行事		館外行事				
			学習会		学習会								
人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	
19,560	88	718	87	726	48	14	521	8,441	14	718	116	2,722	32,159

※1日あたり平均利用者数…109.8人 ※留守家庭児童クラブは開催・登録実績なし。

12 その他の事業

(1) 在宅サービスセンターの運営

土曜日、祝日も開館し、在宅サービスセンターをより住民に利用していただけるよう努めました。

	延利用団体数 (回)	延利用人数 (人)
研修室	335	5,209
調理実習室	204	2,755
ボランティアルーム	389	2,004
点訳室	65	437
録音室	50	190
計	1,043	10,595

(2) 低所得者世帯及び失業者世帯への貸付事業等

《生活福祉資金及び総合支援資金等の貸付》

	資金種別	件数	金額 (円)
生活福祉 資金	福祉費	16	3,716,000
	緊急小口資金	7	403,000
	教育支援資金	8	2,461,000
	計	31	6,580,000
	総合支援資金	0	0
	臨時特例つなぎ資金	0	0
	不動産担保型生活資金	1	4,773,000
	合計	32	11,353,000

《低所得者への事業》

◇緊急一時援護の実施

(3) 福祉広報活動

広報紙「ふれあいみなみ」を年3回（6月、10月、2月）発行し、本会ホームページ、ブログでも広く区民に対し福祉情報の発信を行いました。

(4) シンボルキャラクター「まいまい・あいあい」の活用

南区ボランティア連絡協議会の協力を得て、オリジナルグッズの製作と販売を継続しました。

平成29年度は、マカロン型コインケースを中心に大変好評をいただき、71,072円もの利益がありました。

(売上は全て南区の地域福祉の推進に使わせていただきます。)



(5) 寄付金の受入

◇寄付件数：46件

◇寄付金額：705,351円

(6) その他福祉活動への協力

・南区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会開催助成

- ・南区老人クラブ連合会ペタンク大会開催助成
- ・南区老人クラブ連合会ニュースポーツ大会開催助成
- ・南区老人クラブ連合会趣味の作品展開催助成
- ・学区敬老事業助成
- ・南区老人福祉大会開催助成
- ・民生委員児童委員研修（民児連南区支部総会）助成
- ・南区遺族会慰安会開催助成
- ・社会を明るくする運動に対する助成